

## 国土交通省 | 天竜川上流河川事務所



DATE: 令和2年 6月 18日

いのちとくらしをまもる  
防災減災

国土交通省 天竜川上流河川事務所

開催！砂防・地すべり現場見学会  
【大鹿小学校】

## 開催概要

天竜川上流河川事務所では、「土砂災害防止月間」のイベントとして、事業の周知と防災知識の普及を目的とした「砂防・地すべり現場見学会」を開催しております。

今回、大鹿村立大鹿小学校からの申込みにより、次のとおり見学会を開催いたします。

日時：令和2年 6月23日（火）9：00～11：35（予定）

場所：大鹿小学校（集合場所）、小渋川砂防出張所、近隣砂防工事現場 等

参加者：大鹿小学校 3年生

※雨天等の場合の予備日：令和2年6月30日（火）

小雨決行ですが、天候等により行程が急遽変更となる場合がございます。

## 添付資料

見学会概要書（資料1）、行程表（予定）（資料2）、位置図（資料3-1、3-2）

## 取材について

## 1. 配布先

駒ヶ根市記者クラブ、伊那記者クラブ、飯田市記者クラブ

## 2. 問合せ先

国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所

副所長 大森 秀人（おおもり ひでと）

建設専門官 加藤 幹人（かとう みきひと） TEL:0265-81-6417

小渋川砂防出張所長 佐藤 靖（さとう やすし） TEL:0265-39-2301

令和 2 年度 砂防・地すべり現場見学会 概要書  
(大鹿小学校)

1. 概要

近年各地で大規模な土砂災害が発生し、人々の生活に大きな被害を与えています。

ここ伊那谷もまた、国内有数の急流河川が点在し、かつ、脆弱な地質構造を持つことから、「三六災害」をはじめとする多くの土砂災害に見舞われてきました。

天竜川上流河川事務所では、土砂災害による被害の防止のため、砂防設備の整備と同時に、地域防災力向上のための取組を行っています。

その一つとして、土砂災害の危険性や伊那谷の地形、過去の災害を知り、実際の砂防設備を見て学ぶ機会として、地域の小学生を対象とした現場見学会を開催します。

2. 実施内容

参加者 大鹿村立大鹿小学校 3年生

日時 令和2年 6月 23日(火) 9:00～11:35

予備日 令和2年 6月 30日(火) 9:00～11:35

行程 資料2「見学会行程表」をご参照ください。

場所 天竜川上流河川事務所 小渋川砂防出張所(下伊那郡大鹿村大河原892)  
小学校近隣の工事現場及び砂防設備

(位置は、資料3-1、3-2「開催場所位置図」をご参照ください。)

3. 留意事項

- ・現場見学会は大雨等により中止となる場合がございます。事前に取材のご連絡をいただいた場合には、当日7時30分までに電話またはFAXにて中止のご連絡をいたします。

問い合わせ先




国土交通省中部地方整備局

天竜川上流河川事務所 建設専門官 加藤

TEL: 0265-81-6417

FAX: 0265-81-6421

## R2 大鹿小学校 砂防現場見学会

着	発	場 所	行 動	目 的	備考
—	9:00	大鹿小学校	・ 出 発		
9:05	9:30	砂防ステーション	・ 挨拶・事業説明:5分 ・ ビデオ学習:10分 ・ 模型を使った説明:5分 ・ トイレ等:5分	・「砂防ってなに？」を使用し、砂防事業の概略を理解してもらう ・昭和36年の災害で大鹿村がどのような被害を受けたかを学ぶ	
—	9:30	移 動(15分)			
9:45	10:30	滝沢第1砂防堰堤 改良工事	・ 事業・工事概要説明:5分 ・ 現場体験(※1):40分 (2班に分けてローテーション)	・ 工事現場の見学を通じて、実際に何が行われているのかを知ってもらう ・ 普段関わる機会のない「現場内で行われているコト、モノ」へ直接触れ体感してもらう 【重機に乗ってみよう】 【測量をしてみよう】	
—	10:30	移 動(15分)			
10:45	11:25	塩川床固工群 (塩の里前)	・ 事業・工事概要説明:5分 ・ ドローンの飛行・映像確認:15分 ・ 魚放流:10分 ・ 記念撮影:5分 ・ トイレ等:5分	・ドローンを使用し、上空から周辺の映像を見ってもらう ・最新技術の活用状況を知ってもらう ・魚の放流を通じて自然の大切さを感じてもらう ・全員揃って記念写真(ドローンによる空撮、カメラ)	
—	11:25	移 動(10分)			
11:35	—	大鹿小学校	・ 到 着		

## ※1 現場体験について

## 【重機に乗ってみよう】

- ・土を掘る、均す、盛る、削るなど非常に多くの場面で活躍する建設機械「バックホウ」に搭乗してもらいます。
- ・見て、触れて、動かすことで建設機械のスケールを体感すると共に、用途に合わせて様々な機能を使い分けている事を知ることができます。



## 【測量をしてみよう】

- ・現場では物の長さや高さをどのように測っているのか理解してもらうために、実際に現場で使用している「光波測量器」という機械を使って計測します。
- ・測量の位置や精度が確認できるよう、あらかじめ定位置を計測しておき、うまくその場所の計測ができた場合、「お宝」を発見することができます。



令和2年度 砂防・地すべり現場見学会 開催場所位置図

地理院地図

GSI Maps



令和2年度 砂防・地すべり現場見学会 開催場所位置図

地理院地図  
GSI Maps

